

# 住友化学の1年

中期経営計画の最終年度である2021年度は、需要が伸長している半導体材料の生産能力増強を決定したほか、医薬品においてポスト・ラツータ剤として期待される3剤の販売を開始するなど、積極的な事業運営により、成長への道筋をつけました。また、カーボンニュートラル実現に向けてグランドデザインを策定し、ケミカルリサイクルに向けた取り組みを着実に進めるなど、当社と社会が持続可能であるために歩み続けた年でした。



## エネルギー・機能材料

EPDM(エチレン・プロピレンゴム)事業からの撤退を決定

## エッセンシャルケミカルズ

リサイクルプラスチックブランド「Meguri<sup>®</sup>」を立ち上げ



## 医薬品

住友ファーマとその子会社であるサノビオン社が、精神神経領域で開発中の4つの新薬候補化合物について、大塚製薬株式会社と全世界を対象とした共同開発および販売に関するライセンス契約を締結

## エネルギー・機能材料

愛媛工場でLCP(液晶ポリマー)の生産能力増強を決定

## エッセンシャルケミカルズ

石油化学部門から「エッセンシャルケミカルズ部門」への名称変更を決定

## 健康・農業関連事業

大分工場で核酸医薬原薬の製造プラント新設を決定

## 医薬品

住友ファーマの連結子会社であるエンジバント社が、米国において小児先天性無胸腺症の免疫再構築を適応症とした再生医療に使用される「RETHYMIC<sup>®</sup>」の承認を取得

## 健康・農業関連事業

大分工場に低分子医薬品の原薬および中間体の製造プラント新設を決定

## エッセンシャルケミカルズ

プラスチック製品の水平リサイクル実現に向けて、新しいポリエチレン製品「スミクル<sup>®</sup>」を開発

2022

11月

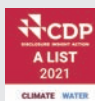
12月

1月

2月

3月

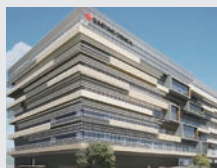
CDPによる気候変動および水セキュリティ対応調査において、気候変動では4年連続、水セキュリティでは2年連続で最高評価を獲得



2050年カーボンニュートラル実現に向けたグラウンドデザインを策定  
→ P.42

## 研究開発

次世代事業の創出加速に向けて、大阪と千葉での研究棟新設、大阪・筑波・千葉の研究拠点再編を決定



千葉地区の新研究棟イメージ図

LNG発電設備の建設費用を資金用途としたトランジション・ローンが、経済産業省が推進する「令和3年度クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業」に、化学分野で初選定

## 研究開発

ケミカルリサイクル技術に関する4テーマがグリーンイノベーション基金事業に採択  
→ P.46

## 研究開発

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、マイクロ波化学株式会社と省エネルギーで高効率な水素製造プロセスの共同開発に着手  
→ P.43

環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」環境サステナブル企業部門で環境大臣賞(銀賞)を受賞



2022~24年度  
中期経営計画を策定  
→ P.35